

ネツゾール耐熱塗装仕様書

Gタイプ 1000℃

▼吹付塗装

工程	使用材料	希釈率 (w t %)	標準膜厚 Dry(μ m)	塗布量 (g / m ² / 回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	1種ケレン(サンドブラスト・ショットブラスト) SO規格 Sa 2.5以上				
前処理	ネツゾールシンナー (専用シンナー) にて拭き取り、油分汚れを除去する。				
塗装(1回目)	G-1001 (グレー・赤錆)	10~15%	25~35	180~220	1時間以上
塗装(2回目)	G-1000 シルバー	5~10%	15~20	130~150	1時間以上
塗装(3回目)	G-1000 シルバー	5~10%	15~20	130~150	—

▼刷毛塗装

工程	使用材料	希釈率 (w t %)	標準膜厚 Dry(μ m)	塗布量 (g / m ² / 回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	1種ケレン(サンドブラスト・ショットブラスト) SO規格 Sa 2.5以上				
前処理	ネツゾールシンナー (専用シンナー) にて拭き取り、油分汚れを除去する。				
塗装(1回目)	G-1001 (グレー・赤錆)	0~5%	25~35	150~180	6時間以上
塗装(2回目)	G-1000 シルバー	0~2%	15~20	110~130	6時間以上
塗装(3回目)	G-1000 シルバー	0~2%	15~20	110~130	—

＜備考＞

※上塗りには1回で厚膜にならないように、必ず2回塗りで仕上げてください。

※上記塗装仕様は塗装環境20℃の標準値の為、気温や施工時の環境で変動します。

※焼付乾燥=セット時間15分以上(20℃)の乾燥時間を設けた後に180℃×30分(硬化乾燥)

施工上の注意

- 1) 材料は、よく攪拌して使用すること。
- 2) 他の材料との併用混合は絶対に避けること。
- 3) 使用器具の洗浄・塗料の希釈は専用シンナーを使用すること。
- 4) 溶接箇所は、溶接完了後12時間以上、自然放置し塗装すること。
- 5) スプレー吹付の場合は、ノズル口径1.0~1.2mmΦ 圧力4.5mPaとすること。
- 6) 膜厚・塗布量は標準値です。塗装物の形状・素地の状態、塗装方法、被塗物温度、希釈率により幅を生じ、膜厚・塗布量は増減します。